

令和6年

秋の全国交通安全運動

実施要綱

実施期間

9月21日(土)～9月30日(月)
<交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(月)>

スローガン

秋の道 ゆとりとマナーで 事故ゼロへ



目的

この運動は、夕暮れの早まりと秋の行楽期が重なる時期に交通事故が多発することから、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に実施します。

運動の重点

- ① 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
(新潟県重点：横断歩行者の安全確保 ～渡るよサインの活用～)
- ② 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した実施計画を策定して、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

公益財団法人 柏崎地区交通安全協会

重点① 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
(新潟県重点：横断歩行者の安全確保～渡るよサインの活用～)

横断歩行者の保護は、ドライバーの義務です！

- ◎ ドライバーは歩行者の動きをよく確認し、必要に応じて速度を落とすなど、「思いやり」の気持ちをもって運転しましょう。
- ◎ 路面に標示された「**ダイヤモンド**」は、その先に横断歩道があることを意味します。(※周辺状況により設置されない場合もあります。)
- ◎ 横断歩道付近の歩行者の動きには特に注意し、横断歩者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるように減速、横断者がいる時は**必ず横断歩道の直前で一時停止**しましょう。



歩行者も安全確認、横断時は「渡るよサイン」の活用！

- ◎ 夜間歩くときは、運転者から見えやすいように、明るく目立つ色の衣服を着用したり、靴、衣服などに夜光反射材を身に付けるようにしましょう。
- ◎ 歩行者は、横断歩道や信号機が近くにあるところでは、その横断歩道や交差点で横断しましょう。また、道路の斜め横断や車両等の直前・直後の横断は禁止されています。
- ◎ 道路を横断する時は「渡るよサイン」で周囲に道路横断の意思を示すとともに、横断前の左右確認はもちろん、横断中も車が近づいて来ていないか確認しましょう。

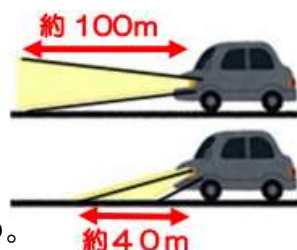


「渡るよサイン」とは、手を上げる、目で合図を送るなど歩行者がドライバーに横断意思を伝える様々な動作の総称を言います。

重点② 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶

早めに前照灯を点灯し、ハイビームを活用しましょう

- ◎ 暗くなってきたと感じる前に、意識的に点灯しましょう。
前照灯の点灯は、暗い道を照らす以外にも、**自分の車の存在を周囲の車や歩行者に知らせるために有効**です。
- ◎ 暗闇の中に歩行者がいるかもしれません。
ハイビーム（走行用前照灯）とロービーム（すれ違い用前照灯）をこまめに切り替え、危険を早期に発見し、交通事故を防止しましょう。



飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない

- ◎ 本年7月末現在、県内の飲酒運転による交通事故発生件数は19件、死者0人、負傷者25人でした。飲酒運転は、悪質で危険な犯罪です。家族、友人、会社、飲食店など皆で協力し、飲酒運転を根絶しましょう。

重点③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

自転車のヘルメット着用と安全確保

- ◎ 本年7月末現在、県内の自転車事故は昨年に比べ、発生件数、死者数、負傷者数全て減少しています。
- ◎ 自転車事故による死者の約5割は頭部に重大な傷害を負っており、ヘルメットの着用は万が一の事故の際、頭部への衝撃を軽減し、命を守ることに繋がります。自分の命を守るため、自転車を利用する際はヘルメットを着用しましょう。
- ◎ 自転車ヘルメットは、安全性を示すマーク（SG、JCF、CEマークなど）の付いたヘルメットを着用し、自転車を安全に利用しましょう。



特定小型原動機付自転車について

- ◎ 特定小型原動機付自転車を利用する際は、ヘルメットを着用し、車道の左側端を通行するなど、交通ルールを守りましょう。また、交通事故を起こした場合は、110番通報するなど確実に警察に届け出をしましょう。



通年運動

止まって! 横断歩道キャンペーン

取組重点期間

9月21日(土)～9月30日(月)

- ◎ 本年7月末現在、県内の横断歩道横断中の歩行者事故発生状況は、昨年に比べ、発生件数、負傷者数ともに減少していますが、死者数は増加しています。
- ◎ 令和5年9月中の横断歩道横断中の死者は2人（前年比+2人）で、死者は**65歳以上の高齢者が2人**（前年比+2人）でした。

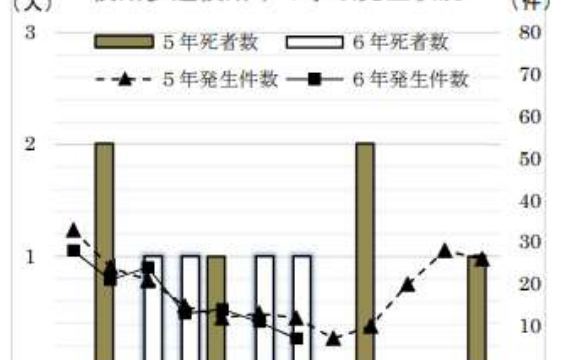
横断歩道で止まらない。
それ、歩行者への交通ハラスメント。
違反です。



動画CM公開中!



横断歩道横断中の事故発生状況



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
6年	発生件数	28	21	24	13	14	11	7					118	
	死者数	0	0	1	1	0	1	1					4	
	負傷者数	29	24	24	13	14	10	7					121	
5年	発生件数	33	24	21	15	12	13	12	7	10	20	28	26	221
	死者数	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	6
	負傷者数	35	23	21	15	11	14	12	7	8	20	30	25	221

皆様からの「かぶろっと！宣言」を募集しています

県では、本年4月から自転車ヘルメット着用促進県民キャンペーンを実施しています。

県民、企業・団体の皆様からヘルメット「かぶろっと！宣言」を募集しています。

皆様自身やご家族で、また会社や団体、学校などで、ヘルメット着用促進にご賛同いただき、その思いを「宣言」としてお寄せください。

宣言される方は、新潟県自転車ヘルメット着用促進県民キャンペーン公式サイトからご登録をお願いします



特設サイトは
こちら

9月30日(月)は「交通事故死ゼロを目指す日」です

全国では記録の残る昭和43年以降、毎日、交通死亡事故が発生していることから、平成20年1月に、交通安全に対する国民の意識を高めるため、新たな国民運動として、「交通事故死ゼロを目指す日」を設けることとされました。

令和3年4月8日には、初めて全国で死亡事故ゼロが達成されました。

交通事故死ゼロの意識を持って達成を目指しましょう。

「交通事故死ゼロ
を目指しましょう」



秋の全国交通安全運動

～ 主な実施内容（予定）～

- 1 交通指導所開設
- 2 街頭立哨
- 3 のぼり旗掲出・ポスター掲載（関係機関）
- 4 各広報誌及び「交通安全だより」による周知
- 5 ホームページによる広報